

ローカルM2Mシステム センサーデータ収集システム



システム概要

【920MHz LoRa方式】の長距離・低消費電力通信技術を使用してリアルタイムで細かい制御が可能なM2Mシステムや膨大なセンサーデータを公衆無線やフリーメールで管理するデータ収集システムを低価格・低予算で実現！

ローカルM2Mシステム

特徴

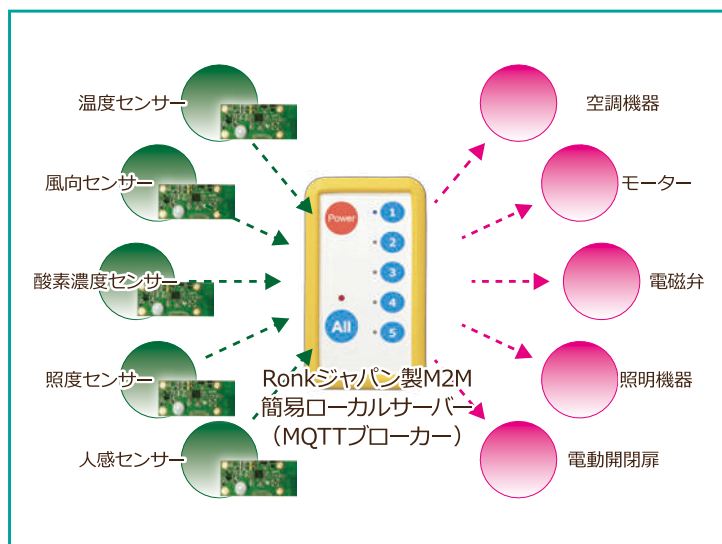
複数のセンサーからの情報を基に複数のアクチュエーター（モーターや電磁弁など）を無線通信でリアルタイムに細かい制御が可能。

また、920MHz帯の低消費電力通信により、省エネと快適性のバランスをとった最適な状態になるよう機器の制御が可能。

センサーとアクチュエーターを無線で行うため、通信ケーブルやケーブル敷設・保守が不要。

レイアウトを変更する場合も、配線をやり直す必要がないこともメリット。

センサーの数を増やすことや後付けが容易。



センサーデータ収集システム

特徴

膨大なセンサーからの情報をWiFiやLTEなどの公衆無線とフリーメールで管理。

給電は外部電源だけでなく、リチウム充電電池や太陽光パネルなどの自己発電にも対応できるので屋外に機器を設置する事も可能。

フリーメールを利用したセンサーデータ収集システムのため、開発コストが非常に安価でサーバー管理費用も発生せず、また、WiFiのみの通信であれば通信費用も無料。

